

筆影山 (311m) & 竜王山 (445m) (須波町)

瀬戸の多島美と三原市を俯瞰する

両山共、全て車道で行くことも出来るが、ここでは山



道を歩くコースを紹介する。メインコース(赤色)の歩行距離は約9・5Km、累積標高差は630m、歩行時間は約5時間である。
 出発点はJR呉線の「須波駅」、ゴールは和田町の「和田口バス停」である。須波駅を南に進み、線路下をくぐり、「地福寺」①を目指して進む。「地福寺」の左横から山手へ進む②と、そこから山道(登山口)になる。入口部のみ

は、夏場に少々雑草が茂り歩き難いかもしれない③。すぐ道ははつきりとしてきて、迷うような所はない。やがて、舗装された林道と合流する④。ほんの少し林道を左へ歩くと、すぐ右手に、山道が現れる。現在標識がないので、見逃さないこと。約一時間も登ると再び車道⑤に出て、広場(駐車場)&トイレがある。そこからは、車道を歩き、「竜王山」山頂へ向かう。この山は備後の国・安芸の国の境界線があり、昔から登町・沖浦町と生活形態の異なる二つの町名が存在していた。山頂にある展望台⑥からの眺めは素晴らしく、瀬戸内海の多島美が堪能出来る。天気の良い日は、四国山脈やその盟主の「石鎚山」も望める。景色を楽しんだら、元の広場へ引き返し、そこから車道を北西に進み、民家のあるT字路⑦まで下れば、右手に進む。5分程車道を下ると右手に山道が現れる⑧。ここも標識が無いので、見落とさない事。その山道を7分程歩くと車道を横切る⑨。数分進むと左手に分かれる分岐⑩があるが、ここは直進する。すぐに車道に合流する⑪。ここからは車道を、標識に従って「筆影山」の山頂を目指す。山頂手前で道が二つに分かれるが、左回りで進む(標識の「展望広場」方向)。途中、三原市街が見え隠れし、やがて、瀬戸内海が広がる。その後現れる、東屋⑫からの景色は、「竜王山」からよりも、より近くに瀬戸内海を望め素晴らしい。尾水道や尾道の市街も良く見える。一服しよう。そこから、階段を上ると、広い山頂広場で、展望台もある。春は桜、秋は紅葉が有名である。展望台からの眺めも、もちろん素晴らしい。景色を十分楽しんだら、登ってきた階段と反対方向にある階段を下り、先程の分岐点に戻る。そこからは来た道を引き返し、車道から山道へ入る⑬。すぐに、先程直進した分岐⑩が現れるので、今度は右へ曲がり(現在和田町への標識無し)和田町へ向かって下って行く。途中送電鉄塔横を通過し二十五分も歩くと、再び車道に出る⑬(この地点がいわゆる山道の登山口にあたる)。ここから終点までは車道歩きとなる。JR呉線の踏切を渡り、和田町の住宅街を縫って「和田口バス停」へ向かう。サブコース(黒+青)は「田ノ浦小学校バス停」を出発点として宗郷川沿いの道を南に向かう。分岐点に詳細案内があるので確認し、「夢の滝コース」を山小屋まで歩く。小屋には女性用トイレがある。ここで登山準備を整えて

黒(2.5 Km) + 青(600m) でトイレ前広場に到着する。

アクセス

「和田口バス停」から三原駅へは芸陽バスで「三原駅」行きに乗車する。「田ノ浦小バス停」へは三原駅から芸陽バスで「青葉台」行を利用する。

チェックポイント

以下の写真を参照されたい。



地福寺 ①



ポイント② 左右に墓地



ポイント③ ここから登山道



ポイント④ 林道にぶつかる



ポイント⑤ 車道へ出る



竜王山展望台⑥からの眺め



ポイント⑧ ここから山道へ



東屋⑩とそこからの眺め



ポイント⑬車道に出る(登山口)

